

ふくしま医療機器開発支援センター

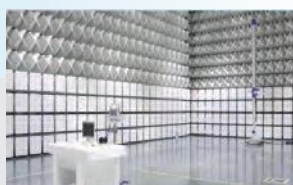


ふくしま医療機器開発支援センター

ふくしま医療機器開発支援センターは、**医療機器の開発から事業化まで一体的に支援する国内初の施設**です。製品の安全性評価・企業のマッチングやコンサルティング・医療従事者のトレーニング・学生の体験セミナーなど、「医療関連産業に携わる、さらには同産業の将来を担う」皆様をサポートするため、様々な支援体制を整備しています。

機能1 安全性評価

センターは、**医療機器を開発するために必要な試験**を実施できます。例えば、電磁波に関する影響を調査するEMC試験や大型動物（実験用ブタ）を用いた生物学的安全性試験などを実施しています。



EMC試験

機能3 コンサルティング・情報発信

各分野の専門家とも連携し、**企業ごとの悩みに対して柔軟に対応することができる個別支援体制を整備**。「開発過程での課題」や「新規参入サポート」、「医療現場へのヒアリング」など、様々なご相談に応えています。

ふくしま医療機器開発支援センターの支援による製品化事例

感染症対応のための内視鏡検査用飛沫防止マウスピースやフェイスガードの製品化を、医療機関とのマッチング等により支援。



フェイスガード



コロナ感染症飛沫防止対策用内視鏡マウスピース

機能2 人材育成・トレーニング

医療機器を取り揃えた模擬手術室や高機能シミュレーターを備えた研修室を活用し、**医療従事者のためのトレーニング**を実施しています。

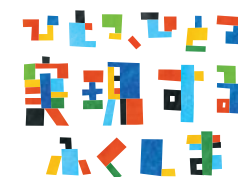
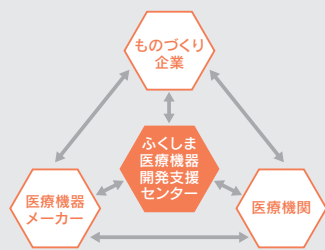
また、**学生に「医療関連産業のやりがいや楽しさ」を知ってもらうため**、医療機器を操作することができる体験ツアーや自らのアイデアを形にするコンテストなども開催しています。



各種シミュレーター

機能4 マッチング

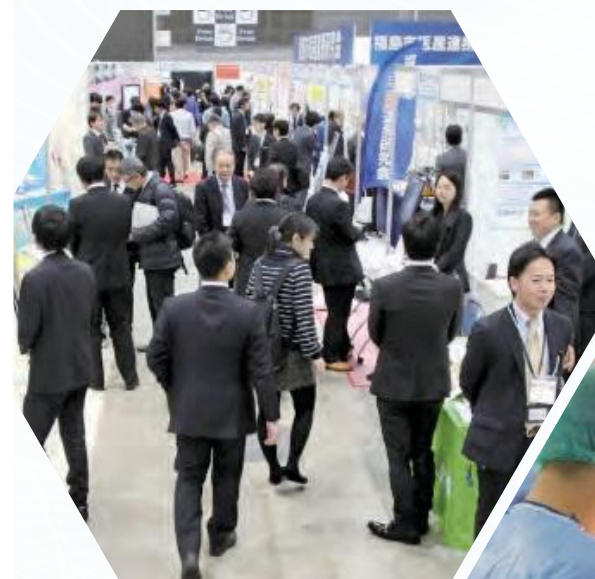
企業の持つ特徴的なスキルや製品に関する情報を集約し、医療機器メーカーや医療現場からの**ニーズに応えることができる企業を迅速に紹介**しています。また、毎年医療機器設計製造に関する展示情報展「メディカルクリエイションふくしま」を開催。全国の医療機器メーカーや医療従事者が一堂に会し、優れた技術を持つものづくり企業とマッチングすることで、**新しいビジネスの創出**を目指します。



Connected in Fukushima

～地域の枠を超えて福島がつなぐ～

次世代医療産業集積プロジェクト



新たな医療機器開発に必要な技術を探すなら

福島県へ

お問い合わせ先

プロジェクト全体については

福島県商工労働部次世代産業課 医療関連産業集積推進室
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

TEL 024-521-7282 FAX 024-521-7932

URL <https://www.pref.fukushima.lg.jp/w4/iryuu-pj/>

E-mail medical-unit@pref.fukushima.lg.jp



ふくしま医療機器開発支援センターについては

(一財)ふくしま医療機器産業推進機構

〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田27番8

TEL 024-954-4011 FAX 024-954-4033

URL <https://www.fmdipa.jp>

E-mail centre@fmdipa.or.jp



福島県

理念・目指す姿

福島県は、全国有数の医療機器生産県です。県では、医療関連分野のさらなる振興を図るため、平成17年度から「うつくしま次世代医療産業集積プロジェクト」を開始し、東日本大震災を乗り越え、産業復興の柱として様々な事業を展開しています。これまでの継続した取り組みの結果、多くの企業が医療分野に参入し、新たな医療機器等の開発にチャレンジし、事業化・量産化に結び付けるなど、本県の医療関連産業は着実に進展しています。

令和3年度からは、これまでの取り組みを発展させ、「**Connected in Fukushima (地域の枠を超えて福島がつなぐ)**」をキーワードに、地域の枠を超えた広域連携を重視した新しい医療福祉機器産業クラスターの形成を目指します。

本県製造業の強みは、部材加工などの高度な技術力にあります。この強みを生かし、国内外医療機器メーカーに対する部材供給にも目を向けた支援を行い、医療関連産業への参入を進めていきます。産学官の様々なネットワークの結節点となることにより、全国および海外の皆様には「**新たな医療機器開発に必要な技術を探すなら福島**」と確かな信頼をいただけるよう、取り組んでまいります。



人材育成

- 医療を支えるものづくり体験学習会の開催
- 医療機器の開発手法等を体得するビジネスリーダー育成プログラムの実施
- ふくしま医療機器開発支援センターにおける医療従事者に対するトレーニングの実施

《戦略1》

地域産業の活性化

地域産業の活性化に向け、企業間連携、大学との連携、臨床や医学との連携を促進します。医療・福祉機器等の開発補助、全国の医療機器メーカーと県内ものづくり企業のマッチング、事業化支援、導入支援を行います。



連携強化

- 福島県医療福祉機器産業協議会による企業間交流会員数 108社(令和3年4月末現在)
- コーディネーターによる医療機器メーカー等とのマッチング支援

開発補助

- 健康増進、災害・救急医療などのテーマに基づく開発補助金

導入支援

- 浜通り地域等で開発された医療機器等の医療・福祉施設等への導入を支援(福島イノベーション・コースト構想関連)

4つの戦略

本県医療関連産業振興のため、福島県では4つの戦略により、企業支援を積極的に進めています。

《戦略2》

医療関連産業を担う人材育成

県内若手技術者のスキルアップや、大学生・高校生に医療機器への関心を高めることで、県内医療関連ものづくり企業への就職や定着を図ります。また、医療機関とのつながりをさらに強め、医療・介護従事者の育成を充実させ、県内の医療福祉の質のさらなる向上を目指します。



施設運営

- 創業関連の研究開発等を行う福島県立医科大学「医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター」に対する支援
- 医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する「ふくしま医療機器開発支援センター」の運営

《戦略3》

医療機器設計・製造拠点のブランド化

医療機器設計・製造拠点のブランド化として、「メディカルクリエーションふくしま」などの展示会や、ドイツNRW州・タイ王国等へのグローバル展開などを通じて、国内外とのつながりを強化し、県内企業の優れた製品・技術を広くPRすることにより、医療機器と言えば福島といった認知度を高めてまいります。



展示会

- 医療機器設計・製造展示会「メディカルクリエーションふくしま」の開催
- ドイツ「COMPAMED」、タイ王国「MEDICAL FAIR THAILAND」等海外展示会への出展

連携強化

- ふくしま医療機器開発支援センターの安全性評価試験を活用した先導的な医療機器開発モデル事業の創出

《戦略4》

医療関連産業支援拠点の強化・活用

「ふくしま医療機器開発支援センター」を核とした交流・連携を一層強化し、安全性評価試験などを含めた総合支援機能により、医療機器の開発・事業化をサポートしてまいります。また、福島県立医科大学「医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター」の成果を活用した医薬品関連企業の支援を進めてまいります。



「メディカルクリエーションふくしま」の様子

福島県のポテンシャル

福島県には、78件(令和3年3月末時点、医療関連産業集積推進室調べ)の医療機器製造業登録事業者が操業するとともに、医療用機械器具の部品等生産金額が278億円(経済産業省「令和元年度工業統計調査」)で10年連続全国1位、医療機器生産金額が1,669億円(厚生労働省「令和元年業事工業生産動態統計年報」)で全国4位であるなど、我が国の医療関連産業を支えています。

また、国内外の大手医療機器メーカーの生産拠点も立地し、本県医療関連産業をリードしております。

さらに、福島県立医科大学、医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター、ふくしま医療機器開発支援センターなどの機関が、医療ニーズ提供や研究開発、安全性評価試験等の面で、企業の取り組みを支援しております。

医療用機械器具の部品等生産金額

